

Ⅲ. 資 料

対象者の登録時属性

対象者の登録時属性（表 1 から表 10、図 1 から図 10）の説明

1. 対象

本研究対象者のうち、平成 20 年 12 月末現在までに登録調査データが電子化された 1,201 人（研究地区 558 人、盛岡地区 643 人）。

2. 集計項目

1) 以下の項目について、カテゴリ変数は割合（%）を、連続変数は平均（標準偏差）を算出した。

(1) 患者の性別（男女）、年齢、10 歳年齢階級（39 歳以下、40-49 歳、50-59 歳、60-69 歳、70-79 歳、80-89 歳、90 歳以上。年齢階級別の集計結果では 59 歳以下、60-69 歳、70-79 歳、80 歳以上の 4 分類に再分類した）

(2) 病型診断（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血、その他）

(3) 既往発作の有無（初回発作、既往発作あり）

(4) 脳卒中患者追加登録票（資料 3）で調査された次の項目

- ・発症前 ADL（modified Rankin Scale で評価）：0～5 の 6 段階
- ・退院時 ADL（modified Rankin Scale で評価）：0～6 の 7 段階
- ・危険因子の有無：高血圧、糖尿病、高脂血症（脂質異常）、心房細動、その他の既往歴

喫煙（吸う＝現在喫煙、やめた＝過去喫煙、吸わない＝非喫煙者）
多量飲酒（1 回 3 合以上）

- ・内科治療の有無（抗血小板薬、抗凝固薬、降圧薬）
- ・点滴治療の有無（抗脳浮腫薬、降圧薬、オザグレール Na、アルガトロバン、エダラボン、tPA 静注、ウロキナーゼ静注、ヘパリン）
- ・外科治療の有無（開頭動脈瘤クリッピング、血管内塞栓術）
- ・特殊治療の有無（開頭血腫除去術、減圧開頭術、選択的血栓溶解療法（動注）、低体温療法、高圧酸素療法）
- ・リハビリの有無（理学療法士による、作業療法士による、言語療法士による）

2) 上記 1) の集計結果を次のように表に示した。

表 1 病院別にみた対象者の登録時属性：研究地区（二戸・久慈）

表 2 年齢階級別にみた対象者の登録時属性：研究地区（二戸・久慈）

表 3 性別にみた対象者の登録時属性：研究地区（二戸・久慈）

表 4 病型別にみた対象者の登録時属性：研究地区（二戸・久慈）

表 5 既往発作・初回発作別にみた対象者の登録時属性：研究地区（二戸・久

慈)

- 表 6 病院別にみた対象者の登録時属性：比較地区（盛岡）
- 表 7 年齢階級別にみた対象者の登録時属性：比較地区（盛岡）
- 表 8 性別にみた対象者の登録時属性：比較地区（盛岡）
- 表 9 病型別にみた対象者の登録時属性：比較地区（盛岡）
- 表 10 既往発作・初回発作別にみた対象者の登録時属性：比較地区（盛岡）

3) 上記 1) の集計結果を次のように図に示した。

- 図 1 病院別にみた modified Rankin Scale（発症前・退院時）（研究地区）
- 図 2 年齢階級別にみた modified Rankin Scale（発症前・退院時）（研究地区）
- 図 3 性別にみた modified Rankin Scale（発症前・退院時）（研究地区）
- 図 4 病型別にみた modified Rankin Scale（発症前・退院時）（研究地区）
- 図 5 既往発作・初回発作別にみた modified Rankin Scale（発症前・退院時）（研究地区）
- 図 6 病院別にみた modified Rankin Scale（発症前・退院時）（比較地区）
- 図 7 年齢階級別にみた modified Rankin Scale（発症前・退院時）（比較地区）
- 図 8 性別にみた modified Rankin Scale（発症前・退院時）（比較地区）
- 図 9 病型別にみた modified Rankin Scale（発症前・退院時）（比較地区）
- 図 10 既往発作・初回発作別にみた modified Rankin Scale（発症前・退院時）（比較地区）

表1 病院別にみた対象者の登録時属性:研究地区(二戸・久慈)

			二戸	久慈	総数
			n = 239	n = 319	n = 558
性別	男	人(%)	128 (53.6)	175 (54.9)	303 (54.3)
年齢	平均(標準偏差)	歳	70.4 (12.3)	73.8 (12.7)	72.3 (12.7)
年齢階級	39歳以下	人(%)	3 (1.3)	6 (1.9)	9 (1.6)
	40-49歳	人(%)	11 (4.6)	6 (1.9)	17 (3.0)
	50-59歳	人(%)	32 (13.4)	33 (10.3)	65 (11.6)
	60-69歳	人(%)	59 (24.7)	48 (15.0)	107 (19.2)
	70-79歳	人(%)	71 (29.7)	113 (35.4)	184 (33.0)
	80-89歳	人(%)	50 (20.9)	91 (28.5)	141 (25.3)
	90歳以上	人(%)	13 (5.4)	22 (6.9)	35 (6.3)
病型	脳梗塞	人(%)	164 (68.6)	225 (70.5)	389 (69.7)
	脳内出血	人(%)	63 (26.4)	79 (24.8)	142 (25.4)
	くも膜下出血	人(%)	8 (3.3)	13 (4.1)	21 (3.8)
	その他	人(%)	4 (1.7)	2 (0.6)	6 (1.1)
発作回数	初回発作	人(%)	183 (76.6)	250 (78.4)	433 (77.6)
NIHSS	平均(標準偏差)	点	7.8 (8.5)	9.9 (8.7)	9.0 (8.7)
発症前ADL	0 全く症状なし	人(%)	125 (52.3)	164 (51.4)	289 (51.8)
	1 通常の日常生活可能	人(%)	67 (28.0)	67 (21.0)	134 (24.0)
	2 介助なしに自分のことができる	人(%)	19 (7.9)	25 (7.8)	44 (7.9)
	3 介助なしに歩行可能	人(%)	13 (5.4)	17 (5.3)	30 (5.4)
	4 介助なしの歩行や生活は困難	人(%)	10 (4.2)	34 (10.7)	44 (7.9)
	5 寝たきりなどの高度の障害	人(%)	0 (0.0)	11 (3.4)	11 (2.0)
退院時ADL	0 全く症状なし	人(%)	23 (9.6)	25 (7.8)	48 (8.6)
	1 通常の日常生活可能	人(%)	76 (31.8)	63 (19.7)	139 (24.9)
	2 介助なしに自分のことができる	人(%)	32 (13.4)	43 (13.5)	75 (13.4)
	3 介助なしに歩行可能	人(%)	14 (5.9)	36 (11.3)	50 (9.0)
	4 介助なしの歩行や生活は困難	人(%)	66 (27.6)	86 (27.0)	152 (27.2)
	5 寝たきりなどの高度の障害	人(%)	22 (9.2)	54 (16.9)	76 (13.6)
	6 死亡	人(%)	3 (1.3)	11 (3.4)	14 (2.5)

平成20年12月現在、NIHSSは脳梗塞および脳出血のみで評価した。ADLはmodified Rankin scaleによって評価した。発症前ADLは今回の発作が起こる前のADLを意味する。

表1 つづき

			二戸	久慈	総数
			n = 239	n = 319	n = 558
既往歴	高血圧	人(%)	133 (55.6)	180 (56.4)	313 (56.1)
	糖尿病	人(%)	49 (20.5)	53 (16.6)	102 (18.3)
	脂質異常	人(%)	39 (16.3)	26 (8.2)	65 (11.6)
	心房細動	人(%)	2 (0.8)	29 (9.1)	31 (5.6)
	その他	人(%)	76 (31.8)	221 (69.3)	297 (53.2)
喫煙	現在喫煙	人(%)	61 (25.5)	60 (18.8)	121 (21.7)
	過去喫煙	人(%)	31 (13.0)	59 (18.5)	90 (16.1)
	非喫煙	人(%)	117 (49.0)	165 (51.7)	282 (50.5)
飲酒	1回3合以上	人(%)	21 (8.8)	23 (7.2)	44 (7.9)
内服治療	抗血小板薬	人(%)	143 (59.8)	132 (41.4)	275 (49.3)
	抗凝固薬	人(%)	21 (8.8)	85 (26.6)	106 (19.0)
	降圧薬	人(%)	83 (34.7)	101 (31.7)	184 (33.0)
点滴治療	抗脳浮腫薬	人(%)	57 (23.8)	125 (39.2)	182 (32.6)
	降圧薬	人(%)	66 (27.6)	73 (22.9)	139 (24.9)
	オザグレルNa	人(%)	28 (11.7)	169 (53.0)	197 (35.3)
	アルガトロバン	人(%)	111 (46.4)	2 (0.6)	113 (20.3)
	エダラボン	人(%)	130 (54.4)	163 (51.1)	293 (52.5)
	tPA静注	人(%)	0 (0.0)	1 (0.3)	1 (0.2)
	ウロキナーゼ静注	人(%)	0 (0.0)	3 (0.9)	3 (0.5)
ヘパリン	人(%)	11 (4.6)	117 (36.7)	128 (22.9)	
外科治療	開頭動脈瘤クリッピング	人(%)	6 (2.5)	11 (3.4)	17 (3.0)
	血管内塞栓術	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
特殊治療	開頭血腫除去術	人(%)	4 (1.7)	2 (0.6)	6 (1.1)
	減圧開頭術	人(%)	3 (1.3)	0 (0.0)	3 (0.5)
	選択的血栓溶解療法(動注)	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	低体温療法	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	高圧酸素療法	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	リハビリ	理学療法士による	人(%)	165 (69.0)	231 (72.4)
	作業療法士による	人(%)	109 (45.6)	209 (65.5)	318 (57.0)
	言語療法士による	人(%)	125 (52.3)	162 (50.8)	287 (51.4)

平成20年12月現在

表2 年齢階級別にみた対象者の登録時属性:研究地区(二戸・久慈)

			60歳未満	60-69歳	70-79歳	80歳以上
			n = 92	n = 107	n = 184	n = 175
性別	男	人(%)	58 (63.0)	70 (65.4)	104 (56.5)	71 (40.6)
年齢	平均(標準偏差)	歳	51.0 (7.5)	65.2 (2.9)	74.5 (2.9)	85.5 (4.5)
病型	脳梗塞	人(%)	46 (50.0)	68 (63.6)	127 (69.0)	148 (84.6)
	脳内出血	人(%)	35 (38.0)	33 (30.8)	50 (27.2)	24 (13.7)
	くも膜下出血	人(%)	11 (12.0)	4 (3.7)	4 (2.2)	2 (1.1)
	その他	人(%)	0 (0.0)	2 (1.9)	3 (1.6)	1 (0.6)
発作回数	初回発作	人(%)	79 (85.9)	89 (83.2)	142 (77.2)	123 (70.3)
NIHSS	平均(標準偏差)	点	7.5 (8.9)	6.4 (7.5)	8.3 (7.9)	11.9 (9.3)
発症前ADL	0 全く症状なし	人(%)	76 (82.6)	68 (63.6)	97 (52.7)	48 (27.4)
	1 通常の日常生活可能	人(%)	9 (9.8)	31 (29.0)	52 (28.3)	42 (24.0)
	2 介助なしに自分のことができる	人(%)	2 (2.2)	6 (5.6)	18 (9.8)	18 (10.3)
	3 介助なしに歩行可能	人(%)	1 (1.1)	0 (0.0)	6 (3.3)	23 (13.1)
	4 介助なしの歩行や生活は困難	人(%)	4 (4.3)	1 (0.9)	8 (4.3)	31 (17.7)
	5 寝たきりなどの高度の障害	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.1)	9 (5.1)
退院時ADL	0 全く症状なし	人(%)	18 (19.6)	9 (8.4)	14 (7.6)	7 (4.0)
	1 通常の日常生活可能	人(%)	28 (30.4)	44 (41.1)	45 (24.5)	22 (12.6)
	2 介助なしに自分のことができる	人(%)	12 (13.0)	19 (17.8)	35 (19.0)	9 (5.1)
	3 介助なしに歩行可能	人(%)	5 (5.4)	9 (8.4)	26 (14.1)	10 (5.7)
	4 介助なしの歩行や生活は困難	人(%)	25 (27.2)	20 (18.7)	42 (22.8)	65 (37.1)
	5 寝たきりなどの高度の障害	人(%)	3 (3.3)	5 (4.7)	19 (10.3)	49 (28.0)
	6 死亡	人(%)	1 (1.1)	1 (0.9)	3 (1.6)	9 (5.1)

平成20年12月現在、NIHSSは脳梗塞および脳出血のみで評価した。ADLはmodified Rankin scaleによって評価した。発症前ADLは今回の発作が起こる前のADLを意味する。

表2 つづき

			60歳未満	60-69歳	70-79歳	80歳以上
			n = 92	n = 107	n = 184	n = 175
既往歴	高血圧	人(%)	44 (47.8)	58 (54.2)	110 (59.8)	101 (57.7)
	糖尿病	人(%)	15 (16.3)	23 (21.5)	35 (19.0)	29 (16.6)
	脂質異常	人(%)	19 (20.7)	12 (11.2)	22 (12.0)	12 (6.9)
	心房細動	人(%)	1 (1.1)	4 (3.7)	12 (6.5)	14 (8.0)
	その他	人(%)	30 (32.6)	41 (38.3)	120 (65.2)	106 (60.6)
喫煙	現在喫煙	人(%)	35 (38.0)	41 (38.3)	28 (15.2)	17 (9.7)
	過去喫煙	人(%)	11 (12.0)	16 (15.0)	42 (22.8)	21 (12.0)
	非喫煙	人(%)	38 (41.3)	35 (32.7)	101 (54.9)	108 (61.7)
飲酒	1回3合以上	人(%)	18 (19.6)	14 (13.1)	10 (5.4)	2 (1.1)
内服治療	抗血小板薬	人(%)	39 (42.4)	54 (50.5)	94 (51.1)	88 (50.3)
	抗凝固薬	人(%)	6 (6.5)	15 (14.0)	36 (19.6)	49 (28.0)
	降圧薬	人(%)	42 (45.7)	44 (41.1)	58 (31.5)	40 (22.9)
点滴治療	抗脳浮腫薬	人(%)	36 (39.1)	33 (30.8)	64 (34.8)	49 (28.0)
	降圧薬	人(%)	34 (37.0)	30 (28.0)	49 (26.6)	26 (14.9)
	オザグレルNa	人(%)	20 (21.7)	32 (29.9)	74 (40.2)	71 (40.6)
	アルマトロバン	人(%)	18 (19.6)	31 (29.0)	30 (16.3)	34 (19.4)
	エダラボン	人(%)	36 (39.1)	47 (43.9)	101 (54.9)	109 (62.3)
	tPA静注	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.6)
	ウロキナーゼ静注	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (1.1)	1 (0.6)
	ヘパリン	人(%)	9 (9.8)	19 (17.8)	42 (22.8)	58 (33.1)
外科治療	開頭動脈瘤クリッピング	人(%)	9 (9.8)	3 (2.8)	4 (2.2)	1 (0.6)
	血管内塞栓術	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
特殊治療	開頭血腫除去術	人(%)	3 (3.3)	1 (0.9)	2 (1.1)	0 (0.0)
	減圧開頭術	人(%)	2 (2.2)	0 (0.0)	1 (0.5)	0 (0.0)
	選択的血栓溶解療法(動注)	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	低体温療法	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	高圧酸素療法	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
リハビリ	理学療法士による	人(%)	66 (71.7)	70 (65.4)	141 (76.6)	119 (68.0)
	作業療法士による	人(%)	53 (57.6)	54 (50.5)	110 (59.8)	101 (57.7)
	言語療法士による	人(%)	51 (55.4)	53 (49.5)	95 (51.6)	88 (50.3)

平成20年12月現在。

表3 性別にみた対象者の登録時属性:研究地区(二戸・久慈)

			女	男
			n = 255	n = 303
年齢	平均(標準偏差)	歳	72.8 (12.8)	68.1 (11.4)
年齢階級	39歳以下	人(%)	5 (2.0)	4 (1.3)
	40-49歳	人(%)	4 (1.6)	13 (4.3)
	50-59歳	人(%)	24 (9.4)	41 (13.5)
	60-69歳	人(%)	37 (14.5)	70 (23.1)
	70-79歳	人(%)	80 (31.4)	104 (34.3)
	80-89歳	人(%)	82 (32.2)	59 (19.5)
	90歳以上	人(%)	23 (9.0)	12 (4.0)
病型	脳梗塞	人(%)	168 (65.9)	221 (72.9)
	脳内出血	人(%)	70 (27.5)	72 (23.8)
	くも膜下出血	人(%)	14 (5.5)	7 (2.3)
	その他	人(%)	3 (1.2)	3 (1.0)
発作回数	初回発作	人(%)	199 (78.0)	234 (77.2)
NIHSS	平均(標準偏差)	点	10.2 (9.3)	8.0 (8.0)
発症前ADL	0 全く症状なし	人(%)	119 (46.7)	170 (56.1)
	1 通常の日常生活可能	人(%)	66 (25.9)	68 (22.4)
	2 介助なしに自分のことができる	人(%)	14 (5.5)	30 (9.9)
	3 介助なしに歩行可能	人(%)	18 (7.1)	12 (4.0)
	4 介助なしの歩行や生活は困難	人(%)	29 (11.4)	15 (5.0)
	5 寝たきりなどの高度の障害	人(%)	5 (2.0)	6 (2.0)
退院時ADL	0 全く症状なし	人(%)	18 (7.1)	30 (9.9)
	1 通常の日常生活可能	人(%)	58 (22.7)	81 (26.7)
	2 介助なしに自分のことができる	人(%)	30 (11.8)	45 (14.9)
	3 介助なしに歩行可能	人(%)	28 (11.0)	22 (7.3)
	4 介助なしの歩行や生活は困難	人(%)	75 (29.4)	77 (25.4)
	5 寝たきりなどの高度の障害	人(%)	38 (14.9)	38 (12.5)
	6 死亡	人(%)	5 (2.0)	9 (3.0)

平成20年12月現在。NIHSSは脳梗塞および脳出血のみで評価した。ADLはmodified Rankin scaleによって評価した。発症前ADLは今回の発作が起こる前のADLを意味する。

表3 つづき

			女	男
			n = 255	n = 303
既往歴	高血圧	人(%)	145 (56.9)	168 (55.4)
	糖尿病	人(%)	39 (15.3)	63 (20.8)
	脂質異常	人(%)	37 (14.5)	28 (9.2)
	心房細動	人(%)	11 (4.3)	20 (6.6)
	その他	人(%)	130 (51.0)	167 (55.1)
喫煙	現在喫煙	人(%)	10 (3.9)	111 (36.6)
	過去喫煙	人(%)	6 (2.4)	84 (27.7)
	非喫煙	人(%)	197 (77.3)	85 (28.1)
飲酒	1回3合以上	人(%)	2 (0.8)	42 (13.9)
内服治療	抗血小板薬	人(%)	118 (46.3)	157 (51.8)
	抗凝固薬	人(%)	38 (14.9)	68 (22.4)
	降圧薬	人(%)	89 (34.9)	95 (31.4)
点滴治療	抗脳浮腫薬	人(%)	92 (36.1)	90 (29.7)
	降圧薬	人(%)	75 (29.4)	84 (21.1)
	オザグレルNa	人(%)	86 (33.7)	111 (36.6)
	アルガトロバン	人(%)	40 (15.7)	73 (24.1)
	エダラポン	人(%)	131 (51.4)	162 (53.5)
	tPA静注	人(%)	0 (0.0)	1 (0.3)
	ウロキナーゼ静注	人(%)	1 (0.4)	2 (0.7)
	ヘパリン	人(%)	53 (20.8)	75 (24.8)
外科治療	開頭動脈瘤クリッピング	人(%)	12 (4.7)	5 (1.7)
	血管内塞栓術	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)
特殊治療	開頭血腫除去術	人(%)	5 (2.0)	1 (0.3)
	減圧開頭術	人(%)	3 (1.2)	0 (0.0)
	選択的血栓溶解療法(動注)	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)
	低体温療法	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)
	高圧酸素療法	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)
リハビリ	理学療法士による	人(%)	189 (74.1)	207 (68.3)
	作業療法士による	人(%)	156 (61.2)	162 (53.5)
	言語療法士による	人(%)	144 (56.5)	143 (47.2)

平成20年12月現在。

表4 病型別にみた対象者の登録時属性・研究地区(二戸・久慈)

			脳梗塞	脳出血	くも膜下出血
			n = 389	n = 142	n = 21
性別	男	人(%)	221 (56.8)	72 (50.7)	7 (33.3)
年齢	平均(標準偏差)	歳	74.5 (11.5)	68.5 (13.4)	59.2 (14.9)
年齢階級	39歳以下	人(%)	2 (0.5)	4 (2.8)	3 (14.3)
	40-49歳	人(%)	12 (3.1)	5 (3.5)	0 (0.0)
	50-59歳	人(%)	31 (8.0)	26 (18.3)	8 (38.1)
	60-69歳	人(%)	68 (17.5)	33 (23.2)	4 (19.0)
	70-79歳	人(%)	127 (32.6)	50 (35.2)	4 (19.0)
	80-89歳	人(%)	123 (31.6)	15 (10.6)	2 (9.5)
	90歳以上	人(%)	26 (6.7)	9 (6.3)	0 (0.0)
	発作回数	初回発作	人(%)	292 (75.1)	119 (83.8)
NIHSS	平均(標準偏差)	点	7.4 (7.4)	13.5 (10.3)	
発症前ADL	0 全く症状なし	人(%)	183 (47.0)	86 (60.6)	18 (85.7)
	1 通常の日常生活可能	人(%)	103 (26.5)	27 (19.0)	2 (9.5)
	2 介助なしに自分のことができる	人(%)	32 (8.2)	10 (7.0)	0 (0.0)
	3 介助なしに歩行可能	人(%)	24 (6.2)	5 (3.5)	1 (4.8)
	4 介助なしの歩行や生活は困難	人(%)	34 (8.7)	10 (7.0)	0 (0.0)
	5 寝たきりなどの高度の障害	人(%)	7 (1.8)	4 (2.8)	0 (0.0)
退院時ADL	0 全く症状なし	人(%)	28 (7.2)	11 (7.7)	7 (33.3)
	1 通常の日常生活可能	人(%)	115 (29.6)	18 (12.7)	3 (14.3)
	2 介助なしに自分のことができる	人(%)	53 (13.6)	17 (12.0)	4 (19.0)
	3 介助なしに歩行可能	人(%)	32 (8.2)	16 (11.3)	2 (9.5)
	4 介助なしの歩行や生活は困難	人(%)	98 (25.2)	52 (36.6)	2 (9.5)
	5 寝たきりなどの高度の障害	人(%)	49 (12.6)	24 (16.9)	3 (14.3)
	6 死亡	人(%)	11 (2.8)	3 (2.1)	0 (0.0)

平成20年12月現在、NIHSSは脳梗塞および脳出血のみで評価した。ADLはmodified Rankin scale¹⁾によって評価した。発症前ADLは今回の発作が起こる前のADLを意味する。その他の病型(n = 6)については作表しなかった。

表4 つづき

			脳梗塞	脳出血	くも膜下出血
			n = 389	n = 142	n = 21
既往歴	高血圧	人(%)	221 (56.8)	78 (54.9)	10 (47.6)
	糖尿病	人(%)	81 (20.8)	18 (12.7)	1 (4.8)
	脂質異常	人(%)	45 (11.6)	13 (9.2)	5 (23.8)
	心房細動	人(%)	28 (7.2)	3 (2.1)	0 (0.0)
	その他	人(%)	213 (54.8)	73 (51.4)	8 (38.1)
喫煙	現在喫煙	人(%)	82 (21.1)	31 (21.8)	6 (28.6)
	過去喫煙	人(%)	66 (17.0)	22 (15.5)	1 (4.8)
	非喫煙	人(%)	193 (49.6)	74 (52.1)	12 (57.1)
飲酒	1回3合以上	人(%)	29 (7.5)	15 (10.6)	0 (0.0)
内服治療	抗血小板薬	人(%)	270 (69.4)	1 (0.7)	0 (0.0)
	抗凝固薬	人(%)	103 (26.5)	2 (1.4)	0 (0.0)
	降圧薬	人(%)	63 (16.2)	107 (75.4)	13 (61.9)
点滴治療	抗脳浮腫薬	人(%)	64 (16.5)	112 (78.9)	6 (28.6)
	降圧薬	人(%)	18 (4.6)	106 (74.6)	14 (66.7)
	オザゲレルNa	人(%)	192 (49.4)	0 (0.0)	3 (14.3)
	アルガトロバン	人(%)	110 (28.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
	エダラボン	人(%)	279 (71.7)	1 (0.7)	11 (52.4)
	tPA静注	人(%)	1 (0.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
	ウロキナーゼ静注	人(%)	3 (0.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
	ヘパリン	人(%)	127 (32.6)	0 (0.0)	0 (0.0)
外科治療	開頭動脈瘤クリッピング	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)	17 (81.0)
	血管内塞栓術	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
特殊治療	開頭血腫除去術	人(%)	0 (0.0)	6 (4.2)	0 (0.0)
	減圧開頭術	人(%)	0 (0.0)	3 (2.1)	0 (0.0)
	選択的血栓溶解療法(動注)	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	低体温療法	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	高圧酸素療法	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
リハビリ	理学療法士による	人(%)	262 (67.4)	116 (81.7)	18 (85.7)
	作業療法士による	人(%)	211 (54.2)	90 (63.4)	17 (81.0)
	言語療法士による	人(%)	174 (44.7)	98 (69.0)	15 (71.4)

平成20年12月現在。その他の病型(n = 6)については作表しなかった。

表5 既往発作・初回発作別にみた対象者の登録時属性:研究地区(二戸・久慈)

			既往発作あり	初回発作
			n = 125	n = 433
性別	男	人(%)	69 (55.2)	234 (54.0)
年齢	平均(標準偏差)	歳	76.2 (10.9)	71.3 (12.9)
年齢階級	39歳以下	人(%)	0 (0.0)	9 (2.1)
	40-49歳	人(%)	1 (0.8)	16 (3.7)
	50-59歳	人(%)	11 (8.8)	54 (12.5)
	60-69歳	人(%)	18 (14.4)	89 (20.6)
	70-79歳	人(%)	42 (33.6)	142 (32.8)
	80-89歳	人(%)	41 (32.8)	100 (23.1)
	90歳以上	人(%)	12 (9.6)	23 (5.3)
	病型	脳梗塞	人(%)	97 (77.6)
脳内出血		人(%)	23 (18.4)	119 (27.5)
くも膜下出血		人(%)	3 (2.4)	18 (4.2)
その他		人(%)	2 (1.6)	4 (0.9)
NIHSS	平均(標準偏差)	点	10.5 (9.3)	8.6 (8.4)
発症前ADL	0 全く症状なし	人(%)	29 (23.2)	260 (60.0)
	1 通常の日常生活可能	人(%)	34 (27.2)	100 (23.1)
	2 介助なしに自分のことができる	人(%)	18 (14.4)	26 (6.0)
	3 介助なしに歩行可能	人(%)	13 (10.4)	17 (3.9)
	4 介助なしの歩行や生活は困難	人(%)	22 (17.6)	22 (5.1)
	5 寝たきりなどの高度の障害	人(%)	5 (4.0)	6 (1.4)
退院時ADL	0 全く症状なし	人(%)	1 (0.8)	47 (10.9)
	1 通常の日常生活可能	人(%)	27 (21.6)	112 (25.9)
	2 介助なしに自分のことができる	人(%)	16 (12.8)	59 (13.6)
	3 介助なしに歩行可能	人(%)	10 (8.0)	40 (9.2)
	4 介助なしの歩行や生活は困難	人(%)	38 (30.4)	114 (26.3)
	5 寝たきりなどの高度の障害	人(%)	27 (21.6)	49 (11.3)
	6 死亡	人(%)	4 (3.2)	10 (2.3)

平成20年12月現在、NIHSSは脳梗塞および脳出血のみで評価した。ADLはmodified Rankin scaleによって評価した。発症前ADLは今回の発作が起こる前のADLを意味する。

表5 つづき

			既往発作あり	初回発作
			n = 125	n = 433
既往歴	高血圧	人(%)	78 (62.4)	235 (54.3)
	糖尿病	人(%)	23 (18.4)	79 (18.2)
	脂質異常	人(%)	12 (9.6)	53 (12.2)
	心房細動	人(%)	7 (5.6)	24 (5.5)
	その他	人(%)	100 (80.0)	197 (45.5)
喫煙	現在喫煙	人(%)	19 (15.2)	102 (23.6)
	過去喫煙	人(%)	22 (17.6)	68 (15.7)
	非喫煙	人(%)	62 (49.6)	220 (50.8)
飲酒	1回3合以上	人(%)	6 (4.8)	38 (8.8)
内服治療	抗血小板薬	人(%)	75 (60.0)	200 (46.2)
	抗凝固薬	人(%)	24 (19.2)	82 (18.9)
	降圧薬	人(%)	42 (33.6)	142 (32.8)
点滴治療	抗脳浮腫薬	人(%)	42 (33.6)	140 (32.3)
	降圧薬	人(%)	22 (17.6)	117 (27.0)
	オザグレルNa	人(%)	51 (40.8)	146 (33.7)
	アルガトロバン	人(%)	30 (24.0)	83 (19.2)
	エダラボン	人(%)	74 (59.2)	219 (50.6)
	tPA静注	人(%)	0 (0.0)	1 (0.2)
	ウロキナーゼ静注	人(%)	1 (0.8)	2 (0.5)
	ヘパリン	人(%)	24 (19.2)	104 (24.0)
外科治療	開頭動脈瘤クリッピング	人(%)	1 (0.8)	16 (3.7)
	血管内塞栓術	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)
特殊治療	開頭血腫除去術	人(%)	1 (0.8)	5 (1.2)
	減圧開頭術	人(%)	0 (0.0)	3 (0.7)
	選択的血栓溶解療法(動注)	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)
	低体温療法	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)
	高圧酸素療法	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)
リハビリ	理学療法士による	人(%)	66 (68.8)	310 (71.6)
	作業療法士による	人(%)	76 (60.8)	242 (55.9)
	言語療法士による	人(%)	69 (55.2)	218 (50.3)

平成20年12月現在。

表6 病院別にみた対象者の登録時属性:比較地区(盛岡)

			岩手医大	県立中央	盛岡赤十字	総数
			n = 220	n = 285	n = 138	n = 643
性別	男	人(%)	126 (57.3)	165 (57.9)	79 (57.2)	370 (57.5)
年齢	平均(標準偏差)	歳	69.0 (12.0)	70.5 (12.4)	71.1 (12.1)	70.1 (12.2)
年齢階級	39歳以下	人(%)	0 (0.0)	6 (2.1)	1 (0.7)	7 (1.1)
	40-49歳	人(%)	13 (5.9)	14 (4.9)	9 (6.5)	36 (5.6)
	50-59歳	人(%)	38 (17.3)	30 (10.5)	11 (8.0)	79 (12.3)
	60-69歳	人(%)	55 (25.0)	67 (23.5)	29 (21.0)	151 (23.5)
	70-79歳	人(%)	63 (28.6)	94 (33.0)	57 (41.3)	214 (33.3)
	80-89歳	人(%)	46 (20.9)	66 (23.2)	24 (17.4)	136 (21.2)
	90歳以上	人(%)	3 (1.4)	7 (2.5)	7 (5.1)	17 (2.6)
病型	脳梗塞	人(%)	148 (67.3)	187 (65.6)	91 (65.9)	426 (66.3)
	脳内出血	人(%)	56 (25.5)	76 (26.7)	33 (23.9)	165 (25.7)
	くも膜下出血	人(%)	17 (7.7)	22 (7.7)	15 (10.9)	54 (8.4)
	その他	人(%)	0 (0.0)	1 (0.4)	0 (0.0)	1 (0.2)
発作回数	初回発作	人(%)	150 (68.2)	206 (72.3)	101 (73.2)	457 (71.1)
NIHSS	平均(標準偏差)	点	6.3 (7.1)	8.1 (7.8)	7.1 (6.5)	7.3 (7.3)
発症前ADL	0 全く症状なし	人(%)	150 (68.2)	199 (69.8)	92 (66.7)	441 (68.6)
	1 通常の日常生活可能	人(%)	38 (17.3)	47 (16.5)	18 (13.0)	103 (16.0)
	2 介助なしに自分のことができる	人(%)	9 (4.1)	13 (4.6)	3 (2.2)	25 (3.9)
	3 介助なしに歩行可能	人(%)	6 (2.7)	8 (2.8)	8 (5.8)	22 (3.4)
	4 介助なしの歩行や生活は困難	人(%)	8 (3.6)	17 (6.0)	14 (10.1)	39 (6.1)
	5 寝たきりなどの高度の障害	人(%)	2 (0.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (0.3)
退院時ADL	0 全く症状なし	人(%)	40 (18.2)	39 (13.7)	6 (4.3)	85 (13.2)
	1 通常の日常生活可能	人(%)	63 (28.6)	59 (20.7)	32 (23.2)	154 (24.0)
	2 介助なしに自分のことができる	人(%)	21 (9.5)	27 (9.5)	19 (13.8)	67 (10.4)
	3 介助なしに歩行可能	人(%)	20 (9.1)	30 (10.5)	14 (10.1)	64 (10.0)
	4 介助なしの歩行や生活は困難	人(%)	44 (20.0)	92 (32.3)	49 (35.5)	185 (28.8)
	5 寝たきりなどの高度の障害	人(%)	29 (13.2)	37 (13.0)	18 (13.0)	84 (13.1)
	6 死亡	人(%)	2 (0.9)	1 (0.4)	0 (0.0)	3 (0.5)

平成20年12月現在、NIHSSは脳梗塞および脳出血のみで評価した。ADLはmodified Rankin scaleによって評価した。発症前ADLは今回の発作が起こる前のADLを意味する。

表6 つづき

		岩手医大	県立中央	盛岡赤十字	総数	
		n = 220	n = 285	n = 138	n = 643	
既往歴	高血圧	人(%)	146 (66.4)	192 (67.4)	92 (66.7)	430 (66.9)
	糖尿病	人(%)	57 (25.9)	79 (27.7)	31 (22.5)	167 (26.0)
	脂質異常	人(%)	40 (18.2)	83 (29.1)	27 (19.6)	150 (23.3)
	心房細動	人(%)	15 (6.8)	32 (11.2)	15 (10.9)	62 (9.6)
	その他	人(%)	69 (31.4)	101 (35.4)	51 (37.0)	221 (34.4)
喫煙	現在喫煙	人(%)	61 (27.7)	87 (30.5)	44 (31.9)	192 (29.9)
	過去喫煙	人(%)	38 (17.3)	45 (15.8)	25 (18.1)	108 (16.8)
	非喫煙	人(%)	104 (47.3)	147 (51.6)	65 (47.1)	316 (49.1)
飲酒	1回3合以上	人(%)	30 (13.6)	31 (10.9)	14 (10.1)	75 (11.7)
内服治療	抗血小板薬	人(%)	100 (45.5)	126 (44.2)	60 (43.5)	286 (44.5)
	抗凝固薬	人(%)	47 (21.4)	61 (21.4)	18 (13.0)	126 (19.6)
	降圧薬	人(%)	70 (31.8)	136 (47.7)	61 (44.2)	267 (41.5)
点滴治療	抗脳浮腫薬	人(%)	47 (21.4)	39 (13.7)	60 (43.5)	146 (22.7)
	降圧薬	人(%)	51 (23.2)	83 (29.1)	47 (34.1)	181 (28.1)
	オザグレルNa	人(%)	64 (29.1)	128 (44.9)	60 (43.5)	252 (39.2)
	アルゴトロバン	人(%)	39 (17.7)	7 (2.5)	10 (7.2)	56 (8.7)
	エダラボン	人(%)	101 (45.9)	142 (49.8)	51 (37.0)	294 (45.7)
	tPA静注	人(%)	1 (0.5)	8 (2.8)	1 (0.7)	10 (1.6)
	ウロキナーゼ静注	人(%)	0 (0.0)	10 (3.5)	1 (0.7)	11 (1.7)
	ヘパリン	人(%)	24 (10.9)	49 (17.2)	53 (38.4)	126 (19.6)
外科治療	開頭動脈瘤クリッピング	人(%)	16 (7.3)	18 (6.3)	10 (7.2)	44 (6.8)
	血管内塞栓術	人(%)	0 (0.0)	2 (0.7)	0 (0.0)	2 (0.3)
特殊治療	開頭血腫除去術	人(%)	3 (1.4)	7 (2.5)	4 (2.9)	14 (2.2)
	減圧開頭術	人(%)	1 (0.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.2)
	選択的血栓溶解療法(動注)	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	低体温療法	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	高圧酸素療法	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
リハビリ	理学療法士による	人(%)	122 (55.5)	240 (84.2)	111 (80.4)	473 (73.6)
	作業療法士による	人(%)	42 (19.1)	190 (66.7)	74 (53.6)	306 (47.6)
	言語療法士による	人(%)	11 (5.0)	76 (26.7)	23 (16.7)	110 (17.1)

平成20年12月現在。

表7 年齢階級別にみた対象者の登録時属性: 比較地区(盛岡)

		60歳未満	60-69歳	70-79歳	80歳以上	
		n = 123	n = 152	n = 214	n = 154	
性別	男	人(%)	81 (65.9)	103 (67.8)	123 (57.5)	63 (40.9)
年齢	平均(標準偏差)	歳	51.1 (6.8)	64.7 (2.8)	74.5 (2.8)	84.6 (4.0)
病型	脳梗塞	人(%)	60 (48.8)	90 (59.2)	157 (73.4)	119 (77.3)
	脳内出血	人(%)	40 (32.5)	46 (30.3)	47 (22.0)	32 (20.8)
	くも膜下出血	人(%)	24 (19.5)	16 (10.5)	11 (5.1)	3 (1.9)
	その他	人(%)	0 (0.0)	1 (0.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
発作回数	初回発作	人(%)	108 (87.8)	108 (71.1)	146 (68.2)	95 (61.7)
NIHSS	平均(標準偏差)	点	6.6 (7.2)	5.9 (6.6)	7.6 (7.2)	8.5 (8.0)
発症前ADL	0 全く症状なし	人(%)	111 (90.2)	118 (77.6)	140 (65.4)	72 (46.8)
	1 通常の日常生活可能	人(%)	8 (6.5)	18 (11.8)	47 (22.0)	30 (19.5)
	2 介助なしに自分のことができる	人(%)	0 (0.0)	6 (3.9)	7 (3.3)	12 (7.8)
	3 介助なしに歩行可能	人(%)	2 (1.6)	3 (2.0)	9 (4.2)	8 (5.2)
	4 介助なしの歩行や生活は困難	人(%)	1 (0.8)	4 (2.6)	9 (4.2)	25 (16.2)
	5 寝たきりなどの高度の障害	人(%)	1 (0.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.6)
退院時ADL	0 全く症状なし	人(%)	32 (26.0)	21 (13.8)	24 (11.2)	8 (5.2)
	1 通常の日常生活可能	人(%)	36 (29.3)	50 (32.9)	45 (21.0)	23 (14.9)
	2 介助なしに自分のことができる	人(%)	10 (8.1)	20 (13.2)	22 (10.3)	15 (9.7)
	3 介助なしに歩行可能	人(%)	13 (10.6)	9 (5.9)	27 (12.6)	15 (9.7)
	4 介助なしの歩行や生活は困難	人(%)	23 (18.7)	35 (23.0)	69 (32.2)	58 (37.7)
	5 寝たきりなどの高度の障害	人(%)	8 (6.5)	16 (10.5)	27 (12.6)	33 (21.4)
	6 死亡	人(%)	1 (0.8)	1 (0.7)	0 (0.0)	1 (0.6)

平成20年12月現在、NIHSSは脳梗塞および脳出血のみで評価した。ADLはmodified Rankin scaleによって評価した。発症前ADLは今回の発作が起こる前のADLを意味する。

表7 つづき

			60歳未満	60-69歳	70-79歳	80歳以上
			n = 123	n = 152	n = 214	n = 154
既往歴	高血圧	人(%)	72 (58.5)	106 (69.7)	150 (70.1)	102 (66.2)
	糖尿病	人(%)	25 (20.3)	45 (29.6)	62 (29.0)	35 (22.7)
	脂質異常	人(%)	20 (16.3)	38 (25.0)	55 (25.7)	37 (24.0)
	心房細動	人(%)	2 (1.6)	14 (9.2)	22 (10.3)	24 (15.6)
	その他	人(%)	28 (22.8)	40 (26.3)	82 (38.3)	71 (46.1)
喫煙	現在喫煙	人(%)	79 (64.2)	50 (32.9)	49 (22.9)	14 (9.1)
	過去喫煙	人(%)	9 (7.3)	31 (20.4)	41 (19.2)	27 (17.5)
	非喫煙	人(%)	33 (26.8)	61 (40.1)	118 (55.1)	104 (67.5)
飲酒	1回3合以上	人(%)	32 (26.0)	26 (17.1)	13 (6.1)	4 (2.6)
内服治療	抗血小板薬	人(%)	46 (37.4)	65 (42.8)	106 (49.5)	69 (44.8)
	抗凝固薬	人(%)	9 (7.3)	24 (15.8)	48 (22.4)	45 (29.2)
	降圧薬	人(%)	59 (48.0)	64 (42.1)	88 (41.1)	56 (36.4)
点滴治療	抗脳浮腫薬	人(%)	29 (23.6)	33 (21.7)	53 (24.8)	31 (20.1)
	降圧薬	人(%)	47 (38.2)	50 (32.9)	53 (24.8)	31 (20.1)
	オザグレルNa	人(%)	40 (32.5)	55 (36.2)	94 (43.9)	63 (40.9)
	アルガトロバン	人(%)	10 (8.1)	10 (6.6)	21 (9.8)	15 (9.7)
	エダラボン	人(%)	45 (36.6)	63 (41.4)	107 (50.0)	79 (51.3)
	tPA静注	人(%)	2 (1.6)	3 (2.0)	3 (1.4)	2 (1.3)
	ウロキナーゼ静注	人(%)	0 (0.0)	1 (0.7)	6 (2.8)	4 (2.6)
	ヘパリン	人(%)	15 (12.2)	25 (16.4)	54 (25.2)	32 (20.8)
外科治療	開頭動脈瘤クリッピング	人(%)	20 (16.3)	14 (9.2)	8 (3.7)	2 (1.3)
	血管内塞栓術	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (0.5)	1 (0.6)
特殊治療	開頭血腫除去術	人(%)	6 (4.9)	5 (3.3)	0 (0.0)	3 (1.9)
	減圧開頭術	人(%)	0 (0.0)	1 (0.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
	選択的血栓溶解療法(動注)	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	低体温療法	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
	高圧酸素療法	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
リハビリ	理学療法士による	人(%)	73 (59.3)	108 (71.1)	167 (78.0)	125 (81.2)
	作業療法士による	人(%)	55 (44.7)	62 (40.8)	107 (50.0)	82 (53.2)
	言語療法士による	人(%)	28 (22.8)	22 (14.5)	30 (14.0)	30 (19.5)

平成20年12月現在。

表8 性別にみた対象者の登録時属性:比較地区(盛岡)

			女	男
			n = 273	n = 370
年齢	平均(標準偏差)	歳	74.8 (12.5)	70.3 (12.4)
年齢階級	39歳以下	人(%)	3 (1.1)	4 (1.1)
	40-49歳	人(%)	12 (4.4)	24 (6.5)
	50-59歳	人(%)	27 (9.9)	52 (14.1)
	60-69歳	人(%)	49 (17.9)	102 (27.6)
	70-79歳	人(%)	91 (33.3)	123 (33.2)
	80-89歳	人(%)	75 (27.5)	61 (16.5)
	90歳以上	人(%)	15 (5.5)	2 (0.5)
	病型	脳梗塞	人(%)	166 (60.8)
脳内出血		人(%)	69 (25.3)	96 (25.9)
くも膜下出血		人(%)	39 (14.3)	15 (4.1)
その他		人(%)	0 (0.0)	1 (0.3)
発作回数	初回発作	人(%)	197 (72.2)	260 (70.3)
NIHSS	平均(標準偏差)	点	7.6 (7.8)	7.0 (7.2)
発症前ADL	0 全く症状なし	人(%)	173 (63.4)	268 (72.4)
	1 通常の日常生活可能	人(%)	50 (18.3)	53 (14.3)
	2 介助なしに自分のことができる	人(%)	9 (3.3)	16 (4.3)
	3 介助なしに歩行可能	人(%)	9 (3.3)	13 (3.5)
	4 介助なしの歩行や生活は困難	人(%)	26 (9.5)	13 (3.5)
	5 寝たきりなどの高度の障害	人(%)	1 (0.4)	1 (0.3)
退院時ADL	0 全く症状なし	人(%)	40 (14.7)	45 (12.2)
	1 通常の日常生活可能	人(%)	61 (22.3)	93 (25.1)
	2 介助なしに自分のことができる	人(%)	31 (11.4)	36 (9.7)
	3 介助なしに歩行可能	人(%)	24 (8.8)	40 (10.8)
	4 介助なしの歩行や生活は困難	人(%)	79 (28.9)	106 (28.6)
	5 寝たきりなどの高度の障害	人(%)	36 (13.2)	48 (13.0)
	6 死亡	人(%)	1 (0.4)	2 (0.5)

平成20年12月現在、NIHSSは脳梗塞および脳出血のみで評価した。ADLはmodified Rankin scaleによって評価した。発症前ADLは今回の発作が起こる前のADLを意味する。

表8 つづき

			女	男
			n = 273	n = 370
既往歴	高血圧	人(%)	183 (67.0)	247 (66.8)
	糖尿病	人(%)	60 (22.0)	107 (28.9)
	脂質異常	人(%)	68 (24.9)	82 (22.2)
	心房細動	人(%)	29 (10.6)	33 (8.9)
	その他	人(%)	103 (37.7)	118 (31.9)
喫煙	現在喫煙	人(%)	31 (11.4)	161 (43.5)
	過去喫煙	人(%)	6 (2.2)	102 (27.6)
	非喫煙	人(%)	218 (79.9)	98 (26.5)
飲酒	1回3合以上	人(%)	6 (2.2)	69 (18.6)
内服治療	抗血小板薬	人(%)	105 (38.5)	181 (48.9)
	抗凝固薬	人(%)	51 (18.7)	75 (20.3)
	降圧薬	人(%)	119 (43.6)	148 (40.0)
点滴治療	抗脳浮腫薬	人(%)	63 (23.1)	63 (22.4)
	降圧薬	人(%)	86 (31.5)	95 (25.7)
	オザグレルNa	人(%)	93 (34.1)	159 (43.0)
	アルガトロバン	人(%)	23 (8.4)	33 (8.9)
	エダラボン	人(%)	122 (44.7)	172 (46.5)
	tPA静注	人(%)	1 (0.4)	9 (2.4)
	ウロキナーゼ静注	人(%)	6 (2.2)	5 (1.4)
	ヘパリン	人(%)	40 (14.7)	86 (23.2)
外科治療	開頭動脈瘤クリッピング	人(%)	33 (12.1)	11 (3.0)
	血管内塞栓術	人(%)	2 (0.7)	0 (0.0)
特殊治療	開頭血腫除去術	人(%)	5 (1.8)	9 (2.4)
	減圧開頭術	人(%)	0 (0.0)	1 (0.3)
	選択的血栓溶解療法(動注)	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)
	低体温療法	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)
	高圧酸素療法	人(%)	0 (0.0)	0 (0.0)
リハビリ	理学療法士による	人(%)	204 (74.7)	269 (72.7)
	作業療法士による	人(%)	135 (49.5)	171 (46.2)
	言語療法士による	人(%)	49 (17.9)	61 (16.5)

平成20年12月現在。